

日本国際情報学会
国際開発研究部会 2023年度 第1回 研究報告会 報告書

国際開発研究部会 2023年度第1回研究報告会を下記のとおり開催しました。

記

1 部会目的

国際開発課題を経済開発と社会開発の両面から捉えて、ミレニアム開発目標(MDGs)や持続可能な開発目標(SDGs)を含む国際開発枠組み及び人間の安全保障・人権・社会開発のような開発理念をアプローチし、そして貿易と開発、技術移転・技術開発の促進、産業集積と地域経済発展、貿易障壁の削減の諸課題を経済学的な視点から理論・実証・政策の側面から研究する。

2 開催日時

2023年(令和5年)6月24日(土) 15時00分～17時30分

3 開催会場

日本大学経済学部3号館3112教室とZOOM (Web会議) ー同時開催ー

4 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

(1) 開会・閉会挨拶：陸 亦群 国際開発研究部会長・日本大学経済学部教授



今回も対面とZOOMのハイブリッド開催とした。これにより対面での議論だけではなく、距離的な制約を克服して日本各地から多くの方に参加していただき、議論を深めることができた。

本部会は、年3回を予定しているが、多くの研究者に発表の場を提供したいので、本日初めて参加された皆さんも良ければ幹事まで連絡してほしい。しっかりと調整していきたいと思えます。

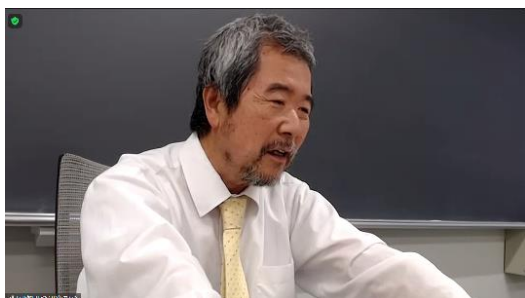
(2) 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

第1報告 (15:05~15:45)

【対面】

報告者：田中 照貢 日本大学大学院総合社会情報研究科後期課程

テーマ「マラウイを中心とした発展途上国の電力開発及び
その先進諸外国からの援助について」



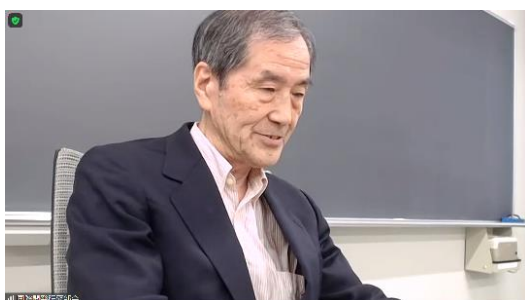
アフリカでは都市化が進んでいないうえ、必要とされる電力の供給が少ない。対して自国での自律的な電力供給網の整備が難しいことから、太陽光発電など様々な電源開発を視野に入れながら先進国の支援による整備の必要性を指摘した。

第2報告 (15:50~16:40)

【対面】

報告者：村越 稔 日本大学大学院総合社会情報研究科後期課程

テーマ「新シルクロード沿線地域の産業・貿易振興への日本の支援
— 製品アーキテクチャーにおける基盤知識の優位性 — 」



日本・中国・中央アジア諸国間における新たな分業体制の構築を目指して、貿易論とアーキテクチャ理論の研究成果を踏まえ、各国間の輸送網の整備によって今後より一層の経済連携が構築されるのではないかと指摘した。

第3報告（16：45～17：25）

【対面】

報告者：芳崎 文香 日本国際情報学会国際開発研究部会

テーマ「女性労働力率の地域差と雇用環境に関する一考察」



2021年の日本の都道府県別女性の労働力率をみると、10%程度の差があることに着目し、それを生じさせている要因が複合的と仮定しつつ考察した。そのうえで、働きやすい環境整備が重要であると指摘した。

5 参加者

18名（会場8名、ZOOM10名）

